

防火標語
おうち時間
家族で点検
火の始末



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)
〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319
編集発行人
武井 郁郎

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>



新年のごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長 武井 郁郎

明けましておめでとう
ございます。県下77団、
3万2千5百人余の消防
団員をはじめ、消防関係
者の皆様におかれまして
は、令和4年の新春をご
家族ともどもお揃いでお
迎えることとお慶び申し
上げます。

震も多発しております。
昨年は8月、9月の大雨
により、県内でも南信、
中信地域をはじめ各地に
大きな被害が生じ、尊い
人命や財産が失われまし
た。被災市町村の消防団
員は、現場の最前線で、
昼夜を分かたず、地元住
民の救助、避難誘導、警
戒活動に携わってこられ
ました。地域や住民を
熟知して活動する消防団
は、地域防災力の要であ
り、その重要性は益々高
まっております。

創意工夫のもと感染予防
に万全を期して活動いた
だくようお願い申し上げ
ます。
昨年10月、総務省消防
庁は「消防団員の処遇等
に関する検討会」最終報
告により、人口減少や高
齢化の進展等のなか、消
防団の処遇改善、団員確
保についての方針を示し
ました。消防団はこのよ
うな社会情勢のもと、そ
のあり方や活動がこれま
でも増して注目される
重要な時期にきておりま
す。

12月、専門委員会及び理
事会では、令和4年度の
事業執行方針を協議、承
認いただきました。本年
も役員一同一丸となって
事業を執行し、消防団の
支援に努力してまいりた
いと考えておりますの
で、相変わらずの御支援、
御協力を賜りますようお
願い申し上げます。

消防団員の皆様には自
らの仕事に従事しなが
ら、火災や風水害など、
あらゆる災害から地域の
皆様の生命、身体、暮ら
しを守るため、職務に精
励されておりますことに
対し、深く敬意と感謝の
意を表します。また、日
頃より当協会の行う各種
事業の運営に御理解と御
協力をいただいているこ
とに、厚く御礼を申し上
げます。

さて、昨年も新型コロ
ナウイルス感染症の感染
拡大により、訓練や行事
など消防団活動が延期や
縮小を余儀なくされ、団
員の消防技術や士気の維
持向上にも影響が出てい
るところでございます。
引き続き、心身の健康に
御留意されるところにも、

長野県消防協会といた
しまして、県消防ポン
プ操法大会・消防ラッパ
吹奏大会の見直しをはじ
め、各種講習会や研修会
の開催、消防団員確保
団員の福利厚生、女性消
防団員の活性化などに取
り組んでおります。昨年

おわりになりますが、
本年が災害のない平穏な
年となり、新型コロナウイルス感
染症が終息に向
かうことを願うととも
に、皆様方の御健勝と御
多幸を御祈念申し上げま
す。



謹賀新年

公益財団法人
長野県消防協会

評議員	五十嵐幸男	河西 満正	藤森 芳樹	倉科 広三	田中 敏勝																			
監事	中村 靖	平出 誠二	中村 収	小菅 和重	中村 庄市	田中 康喜	小宮山 泉	山崎 佳之	米窪 潤司	森本 剛士	久保田直也	北原 義康	清水 正	町田 佳彦	青木 春美	中島 公彦	柳沢 剛	常務理事	理事	副会長	副会長	業務執行理事	会長	

第2回理事会開催

令和4年度事業方針を決定

令和3年度第2回理事会を12月14日(火)、長野市内で開催しました。来年度の事業方針は、理事会に先立って行われた各専門委員会です。所管事項を協議、検討され、その結果を各委員長が報告。次のとおり承認、決定されました。また、松本消防協会から、来年度の県消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会の概要について報告がありました。

事業方針に沿って令和4年度予算を作成し、次回3月の第3回理事会で審議いただきます。



総務専門委員会関係

①基金運用、日本消防協会・県消防協会定例表彰、消防団員の活動に対する事業所等への協力依頼について、従来どおりに行います。

②広報活動は、ホームページ、「信州消防」を中心に主催行事の結果報告や案内周知を行います。フェイスブックには、主催行事に加えて地区協会や各団の活動を随時掲載します。県協会へ情報提供をお願いします。来年度は消防団員募集の動画をホームページにリンクを貼って掲載し、引き続き広報していきます。

③女性消防団員の活性化会議については、地区からの代表メ

ンバーにより引き続き実施します。大会は内容、時期などを検討していきます。

④県の関与として、今年度と同様の事業費補助及び県の県消防協会運営への参加を要望します。

教養専門委員会関係

①来年度の県消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会は、7月10日(日)、松本市消防団トレーニングセンターで行います。開催方針を次のとおりとします。

大会準備、運営に当たる団員、関係者の負担の軽減と人員削減のため、物品のリースと業務の外部委託をこれまで以上に進めます。また、出場選手が安心して参加できる密集機会の少ない大会にするため、可能な限りの参加者、応援者の縮減を呼び掛けます。

ポンプ操法実施要領は、日本消防協会が操法実技について、見直しをしていることから、その変更内容を反映させたものとし、決定事項の4年度大会へのスライド適用

2年度第2回理事会(2年12月16日)で決定された以下の事項は、そのまま4年度大会に適用します。

⑦女性によるポンプ操法演技については、市町村に希望を募り、出場希望団があればお願いしていきます。

④開閉会式の時間短縮のため、優勝旗返還を事前に行うことや来賓紹介方法、表彰式等について見直しを行います。

⑤参加記念章の授与に替えて

フェイススタオルを配布します。令和4年度県消防ラッパ吹奏大会について

⑦縦行進等を省略した屋内で行う要領に変更し、これに基づいた会場レイアウトとします。

①ブロック推薦審査員については、ブロック内の各地区協会で協議した上で決定し、3月の第3回理事会の承認をもつて正式決定とします。

②ラッパ吹奏講習会については、ブロック推薦審査員4名も対象に、審査のポイントなどを習得いただくため、4月23日(土)県消防学校で行います。

③消防団ラッパ隊広域交流会は、今後開催しないこととします。

②第12回長野県消防団長・事務担当者研修大会は、10月19日(水)午後1時30分から松本市で行います。

③副団長講習会は、今年度同様に県消防学校1箇所で開催します。6月11日(土)午前の部9時から、午後の部1時30分からで行います。

④消防団員指導員研修は、12月15日(木)と16日(金)に一泊二日で行います。場所は県消防学校です。

⑤消防団員幹部特別研修は、1月中旬、東京都で行われます。参加者1名の割当ブロックは東信です。

⑥消防団幹部候補中央特別研修は、男性が2月上旬、女性が2月中旬で東京都で行われます。参加者男女各1名の割当ブロックは、北信、南信、中信です。

⑦第29回全国消防操法大会は、今年度中止となったため、スライ

ドして千葉県市原市で開催されます。期日は10月29日(土)、長野県の出場種目は小型ポンプの部です。

⑧第27回全国女性消防団員活性化徳島大会は、今年度中止となったため、スライドして徳島市で開催されます。時期は、11月下旬です。日本消防協会の情報交流会に参加する女性消防団員に対し、1名5千円を助成します。

福利厚生専門委員会関係

①日本消防協会の消防団員等福祉共済は、県下消防団員が全員加入していますが、消防個人年金、婦人消防隊員等福祉共済、全日本消防人共済会の火災共済にも多くの団員に加入いただくよう、呼び掛けていきます。なお、消防団員等公務災害補償等実務研修会は、11月中旬、松本市で市町村消防団事務担当者を対象に実施します。

②県消防関係殉職者慰霊祭は、9月上旬、長野市花園平慰霊碑前で行います。県消防長会との共催で、来年度開催当番は県消防協会です。

③第41回全国消防殉職者慰霊祭は、9月15日(木)午前、日本消防協会で行われます。

④日本消防協会の福祉共済及び長野県消防協会定款細則に基づく弔慰金等について請求漏れがないように周知徹底を図ります。

⑤信州消防団員応援ショップ事業に対する団員への周知を図るため、ホームページや機関紙「信州消防」により積極的に広報していきます。

消防関係者 秋の叙勲

県内から5名の方々が受章の栄に浴されました。

◆瑞宝単光章

- 元 御代田町消防団 団長 塩川 博道
- 元 木曾町消防団 団長 鈴木 秀一
- 元 長野市消防団 団長 高木 芳博
- 元 木島平村消防団 団長 滝沢 良一
- 元 松本市消防団 分団長 松沢 勝

参与会開催

10月25日(月)、参与会を千曲市のホテルうづらやで開催しました。参与10名、正副会長及びオブザーバーとして評議員3名が出席。事務局からの活動状況について、諸先輩方から貴重な意見をいただくとともに、有意義な交流を図ることができました。



消防出初式各地で挙行 一方で中止も相次ぐ

令和4年消防出初式が各地で挙行されています。1月5日(水)、松本市では団員約600人が参加して観閲式と式典が行われました。

一方、コロナ禍により26市町村で中止となっています。(1月13日現在)



県協会定例表彰

令和3年度の長野県消防協会定例表彰は、93団(団及び分団)と2,691名を表彰、市町村の出初式等で授与されました。

- ・ 優秀章 10団
- ・ 無火災章 2団・64分団
- ・ 特別無火災章 17分団
- ・ 功績章 81名
- ・ 永年勤続功労章 259名
- ・ 功労章 256名
- ・ 努力章 223名
- ・ 精進章 332名
- ・ 技術章 216名
- ・ 精勤章 1,304名
- ・ 退職者感謝状 20名

消防団員指導員研修

消防団活動の中核として、指導力をもって遂行している団員を対象に12月16日(木)と17日(金)、一泊二日で消防団員指導員研修を県消防学校で行いました。研修には県下13地区消防協会全てから33名が参加し、講義・実技の8科目を受講しました。

令和3年度受講者名簿

消防団名	階級	氏名
北相木村	分団長	井出 知行
小諸市	副分団長	井出 誠
佐久市	分団長	橋詰 孝行
軽井沢町	副分団長	平島 昭二
御代田町	副分団長	横山 冬樹
上田市	分団長	浦木 聖輝
長和町	分団長	三井 宏映
青木町	分団長	工藤 運仁
岡谷市	副分団長	中澤 健朗
富士見町	分団長	森山 幸人
原那市	副分団長	小松 良成
伊那市	副分団長	蛭川 清人
辰野町	副分団長	田中 剛弘
辰野町	副分団長	坂巻 幸伸
根羽村	副分団長	石原 智史
下条村	副分団長	熊谷 祐介
豊丘村	副分団長	菅沼 良輔
上松町	副分団長	滝田 正樹
王滝村	副分団長	関野 清志
松本市	副分団長	奥野 佳隆
塩尻市	副分団長	羽多野 利勝
安曇野市	分団長	山本 健介
朝日町	分団長	武田 智大
池田町	副分団長	山本 健介
白馬村	副分団長	羽藤 智大
千曲市	副分団長	持田 智大
高山市	副分団長	倉澤 敏宏
長野市	副分団長	関野 幸雄
信濃町	副分団長	高野 裕介
飯綱町	副分団長	山崎 健吾
木島平村	副分団長	山田 善徳
野沢温泉村	副分団長	山田 善徳

県消防関係殉職者慰霊祭

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、9月に予定していた県消防長会との共催による慰霊祭を11月17日(水)に長野市花岡平の「殉難消防組員の碑」前において行いました。

県からは中村危機管理部長はじめ消防課長、消防学校校長、消防防災航空センター所長の参列をいただき、協会では、感染防止対策として参列者を縮小し正副会長が参列しました。



第11回長野県消防団長・事務担当者研修会開催

10月22日(金)研修会をZoomによるオンラインで開催しました。県庁災害対策本部室と各消防団本部、地域振興局を接続。消防団長と事務担当者は各団本部等から出席いただき

研修では、長野市消防団前団長の高木芳博氏が「台風災害を経験して消防団に求められること」と題して講義されました。



女性消防団 活性化会議開催

今年度2回目の会議を11月27日(土)長野市内で開催しました。会議には10名のメンバーと武井会長、上條副会長が出席。情報交換を進めるため、各団の女性消防団員の活動内容を調べ、集約することが決まりました。



コロナ禍でも活動

各地の消防団から生コン協同組合のミキサー車連携した町団総合訓練 下諏訪町消防団

今年度の町団総合訓練を10月17日(日)に水利の乏しい地域での消防用水確保を課題に、諏訪生コン協同組合と合同で行いました。訓練には、116名の団員が参加。生コン共同組合と町は、平成24年11月「災害時における応援協力に関する協定書」を結んでいます。大規模な合同訓練は初めて実施しました。有意義な訓練となりましたが、訓練を通じてハード面、ソフト面での課題も見えたため、今後は課題解決に向けて継続的に訓練を行うとしています。(このコーナーへの寄稿をお待ちしています)



県消防協会理事が所属する消防団の活動状況について 東日本台風19号災害を乗り越えて



長野市消防団
団長 中村 庄市

長野市の紹介

長野市は、県都として長野県の北部に位置し、日本の長さを誇る千曲川(信濃川)や犀川が太古の昔から肥沃な土壌を育み、市の花をリンゴとするなど果物や農産物の生産が盛んです。

東にウインタースポーツのメッカ、志賀高原で有名な上信越高原国立公園を望み、西を日本の屋根、北アルプスが連なる中部山岳国立公園に囲まれ、県歌『信濃の国』に歌われる四つの平の一つ、善光寺平を中心に門前町として栄えてまいりました。1998年のオリンピックのオリंपピック・パラリン



令和4年1月 出初式 市長観閲

ビック冬季競技大会の開催地として決定したことを機に、北陸新幹線(長野経由)や上信越自動車道など高速交通網が発達し、本州の太平洋側と日本海側を結ぶ交通の要衝となり、善光寺の門前町として栄えた街並みは、幾度かの周辺町村との合併を経て拡大、美しい自然と伝統文化、スポーツ、芸術が調和した観光都市として、更なる発展が期待されます。

長野市消防団の紹介

昭和22年9月1日に8分団500名で発足した「長野市消防団」は、昭和、平成の周辺町村との合併を経て、現在は、1本部・6方面隊・74分団、定数3,430名と全国でも屈指の団員数を誇っており、昼夜を問わず火災や風水害等の災害防を主眼に火災予防広報・自主防災組織の育成指導等の地域防災力向上の重要な役割を果たしています。

また、地域防災力の向上を図



令和3年7月 教養訓練(放水訓練)

消防団員や音楽隊員も積極的に任用し、消火・応急手当の指導や広報活動を行うなど活性化を図っています。

長野市消防団の活動

長野市消防団でも、新型コロナウイルス感染症拡大で消防団活動にも影響がでておりますが、例年4月の新任初任者研修から始まり、水防訓練、総合訓練と続き、翌年1月には消防出初式の挙行、文化財防火デーの演習に参加しています。出初式では、令和2年には東日本台風災害からの復興、令和3年から新型コロナウイルス感染症からの回復を願



令和3年1月 文化財防火デー

るため、特定の支所に勤務する職員が機能別団員として各種災害に対応しており、女性



令和元年10月 東日本台風災害(ボートによる救出活動)

「がんばろう長野」をスローガンに、国宝善光寺から市役所まで行進し、市民と一体となって「災害に強いまちづくり」の推進を誓っています。

また、各分団での規律や放水などの定期的な訓練、消防基金の研修事業を活用したS・KYTや健康管理などの研修会も行っています。その他にも、地区の自主防災会訓練への参加や花火大会の警戒など地区コミュニティ活動の一翼も担っており、住民の方々の安心、安全を守るために活動しています。

おわりに

近年、自然災害は激甚化し、新型コロナウイルス感染症など新たな脅威が生まれ、社会構造としては、少子化による生産年齢人口の減少など、消防団を取り巻く環境にも大きな変化が訪れており、持続可能な消防団組織への変革が急務となつてきています。

そのため、長野市消防団では、年報酬や出勤報酬の見直し、大規模災害団員や休団制度の導入など進めており、団員が安心して消防団の活動に従事できるよう尽力していきます。

最後に、令和元年東日本台風災害では、皆さまからの温かいご支援に感謝申し上げます。



令和4年1月 出初式 部隊行進